

News Letter

時間外受診に際してのお願い



当院は、幡多地域における医療の中核となる病院として地域の他の医療機関や保健・福祉介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる良質な医療の提供を目指しています。

救急外来も当院の幡多地域において果たすべき重要な役割の一つであり、緊急処置・手術や入院治療が必要な患者さんに対して、より迅速な受け入れ、治療を行えるような体制を365日24時間維持しています。

これにより、当院では現在年間約2千5百件の救急車搬送の患者さんを受け入れておりますが、同時に夜間・休日の時間外受診をされる患者さんも多く、年間約1万5千人の方が来院さ

れております。

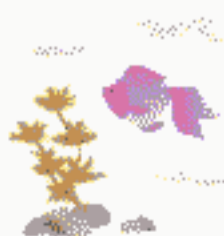
そのため、夜間・休日には内科系及び外科系の医師各1名が当直し、救急患者さんの診療に当たっており、さらに専門的な治療が必要な場合は各科専門医を呼び出し、診療に当たることにしております。

しかしながら、当院の医師数は昨今の医師不足の中で平成15年と比べると10人近く減少しており、医師に対する負担がますます増加しています。



このような状況下で、緊急性がなく、通常の外来診療の延長のような感覚で気軽に受診される患者さんに忙殺されているのは、急を要する重症患者さんや入院患者さんへの対応はもとより、通常診療にも支障をきたしかねず、当院の使命である入院治療や手術に対応できる救急医療そ

のものが危うくなりかねません。つきましては、例えばお仕事や学校の都合でといったような緊急性のない理由で夜間や土日祝日の救急外来を受診されますことは、どうか慎んで頂きますようお願いいたします。



当院としましては、幡多地域の急性期医療を担う病院として、何としてもこの救急診療体制を維持すべく懸命に努力する所存です。今後も継続して安全、安心で質の高い医療を提供し続けていくために、住民の皆様のご理解とご協力を切にお願いする次第です。



a p r o f e s s i o n 「専門職」

『a p r o f e s s i o n』

では当院で働く『専門職』スタッフを取り上げ、その人の担当業務や仕事に対する思いを紹介することで、各『専門職』の内容を知ってもらい、そんなスタッフが集まる病院の姿を知ってもらうことを目的にしています。

今回は10月1日から当院に着任されました消化器科医師の矢野有佳里先生をご紹介します。



矢野 有佳里 先生

(医局 消化器科)



Q1 現在の職業(職種)を選んだ理由を教えてください。

A1 身近な病気が診たいと思ったので選択しました。

Q2 幡多けんみん病院の第一印象を教えてください。

A2 きれいで開放的だと思います。

Q3 あなたの好きな言葉、あなたの人生において指標としている言葉を教えてください。

A3 一期一会

Q4 今後の抱負など、広報誌の読者(院内スタッフ、患者さん、その他一般の方)へのメッセージをぜひ!

A4 まだこちらに来て日が浅いですが、働きやすそうな環境に感謝しています。
頑張りますので、よろしく
お願いいたします。

やさしい食生活

栄養科



『生活の中の「食」を考える』

食に関する情報は毎日のようにテレビや新聞、広告、インターネットなどで見聞きします。それだけ、食事が生活に及ぼす影響は大きく、食と健康の関連性、多くの方の食への関心の深さを理解できます。

どんな世代や年齢の方へも、食や栄養が大事であると常々感じています。活動(運動)、排泄、睡眠などの生活とともに食事について考えてみると、いろいろな情報が見えてきます。

朝ご飯を食べましょう、正しく食事をとりましょう、とお伝えしても、十分な睡眠がとれて

いない方や日中の活動量が少なくお腹が空かない方などもあります。便秘で悩んでいる方は腹部膨満感で食欲がでないこともあります。

生活の情報を得ていくと、その中の食事のパターンが見えてきます。食事だけでなく、生活全体を通して食環境を見直すことが大切です。

朝晩と寒くなり、温かい料理が食べたくなる季節になりました。今月は秋の香り豊かなきのこを使った汁ものを紹介します。これ一品でたくさん野菜ときのこがおいしく食べられます。低カロリーで免疫力アップ!



たっぷりきのこ

根菜のお椀



★材料（2人分）

きのこ（しいたけ、しめじ、

まいたけ、えのきなど）

…100g

根菜（大根、人参、ゴボウ等）

…100g

豚バラ肉（薄切り）

塩・しょうゆ・酒

・あらびき黒コシヨウ

★作り方

①きのこ類は汚れを拭き取る。しいたけは軸を除いて細切りに。しめじ・まいたけは石づきを除いて小房に分ける。えのきは根元を切ってほぐす。

②根菜は細切りか拍子切りにし、豚バラ肉は細切りにする。

③鍋に、①のきのこ②の根菜と豚バラ肉、だし（2カップ）

を入れて火にかける。煮立ったらアクを取り、中火にして3分間煮る。

④塩小さじ1/2、しょうゆ小さじ1/2、酒小さじ1/2で味を調え1分間煮る。器に盛り、あらびき黒コシヨウを適量ふる。

ニューカレドニア

編集スタッフ

この夏休みは、「天国にいちばん近い島」として知られているニューカレドニアへ行ってきました。ここは、フランス領で、フランス語では「ヌーベルカレドニア」と言います。本島といくつかの諸島があり、島を取り巻く海は遠浅で青々とし、島には自然がたくさん溢れています。この島を取り巻くサンゴ礁はユネスコ世界自然遺産に登録されるほどです。

今回は、本島と「イルデパン」島に行きました。「イルデパン」は、その昔、現地の人々には

「クニエ（海の宝石）」と呼ばれていました。しかし、ヨーロッパ人として初めてこの島を訪れたキャプテンクックが島にたくさん生えている南洋杉を松と間違えて「イルデパン（松の島）」と名付けていました。確かに松のような樹がたくさん生えていました。緑の木々と青い海と鳥や花、自然に囲まれてゆっくりとした時間が流れている場所でした。



島では、窓からの朝陽と鳥の声が目覚時計のかわりで、ゆっくりと朝食をとり、少し日差しが強くなると目の前に広がるどこまでも遠浅の海やプールに入る。そして、少し疲れたら昼寝をする。「何もしない贅沢」を味わいました。

ホテルのすぐ側から川を上流へ歩いて三十分弱行くと「ピツシンヌナチュレル（天然プール）」と呼ばれる場所にたどり着きます。そこは小さな湾になっていて、透明度が高く、胸のあたりまでの深さのところの色とりどりの熱帯の魚がクルクルと泳いでいます。ダイビングの準備をしていなくても十分に楽しめる場所でした。

夜には、波の音が聞こえる場所でおいしい料理とお酒をたっぷり時間をかけて楽しみました。

短い夏休みでしたが、ゆっくりと日々を振り返りながら、毎日クヨクヨとしていることがとてもちっぴけに感じました。この夏休みで心の栄養補給ができました。そして、補給した栄養を、大切な誰かに少しだけ分けたいと思います。みなさんも、疲れた時には、少し日常を離れて心の栄養補給を試してみてください。



病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

医療機関を受診される際は、**お薬の内容が分かるもの(薬剤情報提供書・お薬手帳など)**を持って行くようにしましょう!

私たちの目指す医療(基本方針)

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

インフルエンザ ワクチン接種について



10月1日より全国でインフルエンザワクチン接種が開始されていますが、当院では産婦人科・小児科以外は外来でのインフルエンザワクチン接種は実施いたしません。

ワクチン接種希望の方は他医療機関で接種するようお願いいたします。

※例外的に高度免疫抑制状態の患者さんなど、医師がワクチン接種必要だと判断した場合には、医師から患者さんへ接種希望の確認後、ワクチン接種をする場合があります。

小児科・産婦人科の通院患者様は診察時に医師へお申し出下さい。

(院内・院外医療関係者) 11月研修会のご案内

＊第5回 がんの勉強会

『がん化学療法 Update』

講師：高知医療センター

腫瘍内科 辻 晃仁先生

日時：平成22年11月9日(火)

18時～

場所：幡多けんみん病院

3階 大会議室

対象者：院内・院外医療関係者

＊院内感染対策研修会

講師：県西部浜松医療センター

衛生管理室長

松井 泰子先生

日時：平成22年11月26日(金)

18時～19時

場所：幡多けんみん病院

3階 大会議室

対象者：院内・院外医療関係者



7, 8月の統計

	7月	8月
外来患者数	12,020人	11,940人
新外来患者数	1,761人	1,976人
紹介患者数	384人	387人
新入院患者数	469人	559人
退院患者数	490人	511人
平均在院日数	13.5日	13.1日
救急車・時間外患者数	1,324人	1,304人
手術件数	148件	192件

幡多けんみん病院における患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受ける権利をもっている。
2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
5. 患者さんは、人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。